



これからの農業を導く活動を紹介します

平成28年度郡山市農業賞受賞団体である、JA福島さくら郡山地区加工トマト部会は、国分義春 部会長を中心に、現在、部会員21名で田村町や中田町等で加工用トマトの栽培を行っています。

東京電力福島第一原子力発電所事故による風評のため、一時作付けが制限される等困難な状況の中、部会員同士の情報交換や徹底した栽培管理を行うことで、平成28年反収は8.2tと全国トップクラスの収穫量を上げるまでになりました。例年暑い時期の収穫となるため、部会全体で早朝の涼しい時間帯に涼しい服そうでの収穫等、熱中症にならない様に工夫を図っています。また、県外団体の産地視察受け入れや販売促進活動の実施など、県内外において風評払拭活動を積極的に行うことにより、郡山市製品の安全安心のPR活動を継続しています。



なお、平成28年度は、これまでの「郡山市農業賞」に加え、先進的な取り組みを行っている農業者や市の農林水産業の発展に貢献した団体や個人に対し、「郡山市農業奨励賞」の表彰を行いました。

平成28年度の各賞の受賞者は以下のとおりです。(敬称略)

<郡山市農業賞>

●JA福島さくら郡山地区加工トマト部会

<郡山市農業奨励賞>

- 小林 正一郎(片平町) ICT(情報通信技術)を活用した農業
- 郡山市有害鳥獣捕獲隊 有害鳥獣捕獲による農産物への被害抑制
- 柴宮地区耕地保存会(安積町) 地域での農業文化の伝承等
- 栃山神自然を守る会(田村町) ホタルの観察会実施や景観形成等
- 中野地区環境を守る会(湖南町) 「梅花藻」の保護活動等
- 国立大学法人 福島大学 市との連携協定に基づく公開授業の実施等



農業を始めてみませんか？

園芸振興センター ☎957-2880

「こおりやま園芸カレッジ」で、1年を通じて野菜や花きの栽培について学び、就農に必要な農業技術を身につけてみませんか？

平成30年度入校希望者を対象に、下記のとおり体験入校を行います。

体験入校

- 対象 郡山市内で就農を目指す60歳までの方
- 日時 **1回目** 10月16日(月)午前9時30分～正午
2回目 10月17日(火)午前9時30分～正午
- 場所 郡山市園芸振興センター

内容は
2回とも
同一です。



▲平成28年度の体験入校の状況

経営改善に向けて！

「GAP」に取り組みましょう！！

園芸畜産振興課 ☎924-3761

農業者の皆さんは、農産物の安全を確保するための生産履歴の記帳を中心に、環境の保全、労働の安全を確保するための点検などを日頃より行っていることと思います。

GAPとは、これらの取り組み状況を記録簿や掲示物によって確認・表示しながら、**農産物の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取り組み**です。

この取り組み内容について第三者からの認証を受けることが「第三者認証GAP」であり、JGAP、グローバルGAPなどがこれにあたり、2020東京オリンピック・パラリンピックに出荷するには、この第三者認証GAPが必要となります。

各種支援策がありますので、取り組みを希望される方はお問い合わせください。

「人・農地プラン」を作成してみませんか？

農業政策課 ☎924-2201

「人・農地プラン」とは、地域農業の基礎となる人と農地の問題を解決していくために、地域における話し合いを通じて作成する「未来の設計図」です。プランが検討会を経て決定され、事業要件に合致すれば、農業次世代人材投資事業（経営開始型）、地域集積協力金、経営体育成支援事業、認定農業者のスーパーL資金当初5年間無利子等の各種事業の対象になります。

今年度はプラン周知のため、農家組合長を対象にプラン説明会を市内15ヶ所で開催いたしました。

プラン作成につきましては、地域への説明会や資料の作成に対して、市や関係機関が支援を行いますので、ご要望のある地区・集落はお問い合わせください。



効率的な農地利用に向けて「農地中間管理事業」 農業政策課 ☎924-2201

農地中間管理機構（公益財団法人福島県農業振興公社）は農地を貸したい方から一旦農地を借り受け、農地の担い手に転貸します。公的機関なので安心なこと、貸借の手続きが簡単なことが特徴です。

また、農地の効率的な利用を促進するため、事業を活用し要件に合致すれば、地域に対する支援（地域集積協力金）及び、貸主に対する支援（経営転換協力金・耕作者集積協力金）が受けられます。

農地中間管理事業を活用して農地を貸したい方や農地を借りたい方は、お気軽にご相談ください。

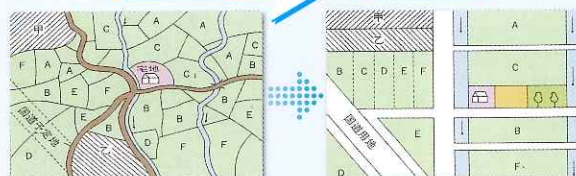
農地の基盤整備を実施しませんか？

農地課 ☎924-3921

基盤整備事業は、ほ場の大区画化や農業用排水路、農道等の整備により、効率的で生産性の高いほ場を造成し、農業生産性の向上を図りながら、農業担い手への集積を推進します。

事業計画に際し、必要な採択条件（地権者の同意、担い手への集積、地元の費用負担割合など）についてはお問い合わせください。

イメージ



（出典：農林水産省ホームページより）

福島大学の公開授業で一緒に学びましょう! 農業政策課 ☎924-2201

郡山市と福島大学は、農業と食品産業の一層の発展を目指し、震災からの復興と風評の払しょくを図るため、専門家による「ふくしま未来 食・農教育プログラム」公開授業を開催しています。

今年度全5回の開催のうち、今後の開催予定は、下表のとおり第4回及び第5回となります。

どなたでも参加できますので、ぜひ、ご参加ください。

会場	郡山市役所 特別会議室 (本庁舎2階)	日時(予定)	テーマ及び講師
料金	無料 (事前申込み不要)	第4回 平成29年12月20日(水) (午後6時～8時)	◆地域資源活用の新展開(仮) 福島大学 准教授 林 薫平 氏
		第5回 平成30年1月26日(金) (午後6時～8時)	◆郡山ブランド化×グリーンツーリズム戦略(仮) 福島大学 准教授 則藤 孝志 氏

多面的機能支払制度をご存知ですか?

農地課 ☎924-3921

多面的機能支払制度とは、地域で行う農地法面の草刈り、水路の泥上げ、施設(水路・農道等)の軽微な補修や環境保全のための共同活動等(植栽等)を支援する制度です。地域で組織を設立し、事業計画を作成後、補助金を交付します。補助金は、作業参加者への日当の支払いなどに使うことができます。



お知らせ

農振除外の受付停止について

農業政策課 ☎924-2201

現在、平成31年3月の完了に向け、郡山農業振興地域整備計画の全体を見直す総合見直しを行っており、これに伴い、農振除外の受付を停止させていただきます。

◆停止期間：平成30年4月から1年間

停止期間までの農振除外は従来どおりの受付となり、締切日は、平成29年12月28日、平成30年3月30日の2回です。締切後、変更決定までの期間は、約6ヶ月、軽微な変更は約3ヶ月となります。詳しくはお問い合わせください。

「土壌診断」をしてみませんか?

園芸畜産振興課 ☎924-3761

効率的な土づくりや、作物にあった施肥管理を行うために、畑や果樹園等の土壌分析を無料で実施しています。※事前申込が必要です。

分析項目：pH(土の酸度)、CEC(土の保肥力)、石灰、苦土、カリ等の9項目及び放射性物質の濃度
分析点数：生産農家1戸につき2点まで(生産出荷用)

市場の朝市

郡山市総合地方卸売市場朝市実行委員会 ☎962-9976

郡山市総合地方卸売市場では、下記のとおり毎月「市場の朝市」を開催しています。

早朝の市場に、ぜひお越しください!

開催日時 毎月第4日曜日(12月は第3日曜日)
6時半～9時

開催内容 ●新鮮な野菜・果物や魚介類、
水産加工品、生花等の即売 ほか

「堆肥」で土にも人にも優しい農業を!

園芸畜産振興課 ☎924-3761

本年3月に配布した「堆肥マップ」を活用されていますか?堆肥は土壌中の粒子を細かくするため保水・排水性が向上するとともに、微生物の増加により病害虫菌の発生を抑制する等、土壌状態の改善を図る効果があります。堆肥の成分を活かし作物に適した利用をすることで、土にも人にも優しい農業に取り組みましょう!

*堆肥利用を希望される方は、「堆肥マップ」掲載の畜産農家へ直接ご連絡ください。また、堆肥の提供を希望される方は、お気軽にご相談ください。

お願い

飼料用米への取り組みにご協力ください

農業政策課 ☎924-2201

平成30年以降、国による生産数量目標の配分が廃止となりますが、県を中心に引き続き生産数量の目安を設定し米価安定に取り組んで参りますので、飼料用米の取り組みを主とした生産調整へのご協力をお願いします。最寄のJA、米集荷業者(生産調整方針作成者)、市農業政策課までご相談ください。

農地を適正に利用しましょう

農業政策課 ☎924-2201 農業委員会事務局 ☎924-2481

農業用倉庫の建築など転用行為の予定がある場合は、農業政策課、農業委員会にあらかじめご相談ください。

ご注意ください

郡山市産のきのこ・山菜類は出荷販売ができません

林業振興課 ☎924-2231

野生きのこや、野生のたらのめ、野生のうるい、こしあぶら、たけのこ、こごみ、ぜんまいの山菜類については、国から出荷制限等が指示されていますので、出荷、販売をしないでください。



農作業中の事故にご注意ください!

園芸畜産振興課 ☎924-3761

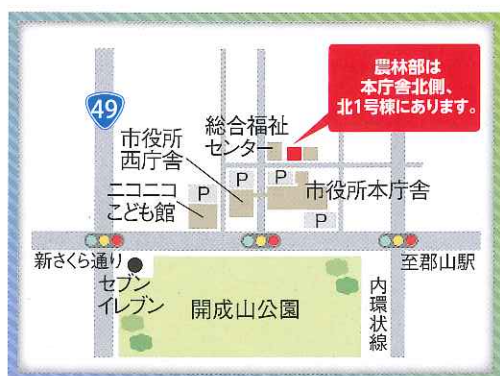
今年の春の農繁期には、県内で3件の農作業死亡事故が発生し、2件の重傷事故が発生しました。秋の農繁期を迎える前に作業を見直し、農作業事故ゼロを目指しましょう!

- ・作業計画を立て、余裕を持って作業しましょう!
- ・無理なほ場への進入、畔越えはやめましょう!
- ・機械の点検・清掃時はエンジンを切りましょう!

冬眠前のクマは特に危険です

園芸畜産振興課 ☎924-3761

クマは、冬眠前に採食活動が活発になります。農地の見回り等、山に入る際は、音のするものを身に着ける等対策を行い、出会い頭の遭遇を避けるなど十分に注意してください。



郡山市役所本庁舎北1号棟(農林部)

- | | | |
|----|---------------|-----------|
| 2階 | 農地課 | ☎924-3921 |
| | 林業振興課 | ☎924-2231 |
| 1階 | 農業政策課 | ☎924-2201 |
| | 園芸畜産振興課 | ☎924-3761 |
| ◆ | 総合地方卸売市場管理事務所 | |
| | 大槻町向原 | ☎961-1140 |
| ◆ | 園芸振興センター | |
| | 逢瀬町多田野 | ☎957-2880 |



郡山市農政だより 第33号 (平成29年10月)

編集発行: 郡山市農林部農業政策課

〒963-8601 郡山市朝日一丁目23-7 TEL.024-924-2201 FAX.024-938-3150



植物油インキを使用して印刷しています。

紙へリサイクル可

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。